

応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会誌用 原稿テンプレート

応物 ○M&BE, 有バ 分科会

1. はじめに

ご執筆いただく原稿は、M&BE 最前線、研究会予稿、One Point 欄用です。研究会の予稿を兼ねる場合は、その研究の目的・対象・方法はもちろん、得られた結果や数値まで書いていただき、それによって聴講者に内容を徹底させ、あわせて講演時間を短縮し、かつ来聴できない会員に講演内容を速報するものであります。

2. 原稿レイアウト

いただいた原稿はオフセット印刷にしますので A4 の用紙にワープロで印字（およそ 10-12 ポイント, 40 字×37 行）して下さい。（マージン: 上下 30 mm、左右 25 mm）

3. 原稿作成

原稿は、A4 用紙に 4-6(偶数)枚程度にお書きください。

4. 印刷サイズ

お書きいただいた原稿は、そのまま縮写されて B5 判の大きさとなりますので、添え字など見にくい場合には、フォントサイズを大きくするなどして見やすくしてください。

5. 字のサイズ

原稿の題目は、第一頁、第 2 行目に 14-18 ポイント（または横倍角）で印字し、1 行あけて第 4 行目に勤務先・執筆者氏名(予稿の場合で、連名の時には登壇者の氏名の頭に○印をつける)を書き、本文は第 6 行目から書き始めて下さい。第 2 頁以降は第 1 行目から書いてください。なお、勤務先(所属)以降の字の大きさは普通字の大きさです。

6. 執筆要項

- (1) 文体は口語体とし、常用漢字およびひらがなを用い、新かなづかい。ただし、外国語はカタカナまたは原語のままとする。
- (2) 用語はなるべく文部科学省または JIS で制定されたものとする。
- (3) 単位はなるべく SI 単位を用い、数値はアラビア数字を使う。
- (4) 量および単位記号はなるべく JIS で制定されたものを使用する。その他については「応用物理」執筆要項に準じてください。

7. 図・表

図および表は美しくコピーしたものを文中に挿入してください。写真はコントラストの高いものに限りません。

8. 図・表番号

図は、図1、図2・・・ 表は表1、表2・・・のように書く。

9. 引用文献

(1) 本文の末尾にまとめて書き、次の形式による。

論文については 番号) 著者: 誌名, 巻(西暦) 始頁.

著書については 番号) 著者: 書名(発行書名, 発行年西暦) ページ.

(2) 引用箇所には番号を右肩に小さく²⁾のように記入する。

(3) 脚注は本文の下に横線を引き、その下に記入する。記号ページごと*印を使う。

10. 原稿提出

原稿提出は、このテンプレートを使用し、word および pdf ファイル両方を提出して下さい。

11. 著作権、転載の許可

著作権、転載の許可については「応用物理」の規定に準じます。詳しくは「応用物理」1月号をご覧ください。

12. まとめ

この原稿規定は、2007(平成19)年5月18日(金)の常任幹事会において改訂された。

参考文献

1) W. J. Freeman: Biological Cybernetics, Jpn. J. Appl. Phys., 56 (1987) 139.

2) 海野洋一: バイオエレクトロニクス (工業調査会, 1987) 100.